

ソニー生命カップ 第47回全国レディーステニス大会 岐阜県予選会

- 特別協賛 ソニー生命保険株式会社
- 主催 (公財) 日本テニス協会 朝日新聞社
- 後援 (公財) 日本スポーツ協会 日刊スポーツホールディングス メ〜テレ 岐阜県テニス協会
東京都
- 主管 日本女子テニス連盟 岐阜県支部
- 協賛 ヨネックス株式会社
- 大会会長 大友 克之 岐阜県テニス協会会長
- 大会副会長 木村 俊介 朝日新聞社岐阜総局長
- 大会名誉顧問 高橋 薫 ソニー生命保険株式会社 代表取締役社長
- 大会役員 岩崎 彌廣 岐阜県テニス協会理事長
- 大会役員 柴田 基樹 ソニー生命保険株式会社岐阜支社 支社長
- 大会委員長 藤原 ちえみ 日本女子テニス連盟岐阜県支部長
- ディレクター 山下 里登美 全国レディース委員長
- レフェリー 牧村 洋子
- アシスタントレフェリー 藤原 ちえみ
- 運営委員 梶田 恵 松下 祐紀
- 競技委員 安藤 千賀子 梅田 宗子 森 有光子
朝居 基美 (SCU) 河合 クミ (SCU)
- 日程 2025年 9月 25日(木) 1R~2R チャレンジ大会 ベテラーノ大会
26日(金) 3R~QF
29日(月) SF~F 3位決定戦 クイーンの部決定戦
- 雨天順延 予備日10月10日(金)
- ※受付締切時間は、25日は後記オーダーオブプレー表で各自確認
26日と29日は午前9:30
- 会場 岐阜ファミリーパークテニスコート (砂入り人工芝コート)
〒501-2511 岐阜市北野北 997 TEL058-229-6682
- 試合方法 「JTA テニスルールブック 2025」に準ずるトーナメント
2タイブレークセット (ノーアドバンテージ方式)
ファイナルセット (10ポイント) マッチタイブレーク方式
セットブレークは120秒以内、トイレットブレークはセットブレーク時に1試合ペアで
2回まで取ることができる
セルフジャッジ (SFよりSCU方式)
ウォームアップはサービス4本とする (SFより5分間)
- ※コートの使用時間が午後5時30分までの為、試合途中の場合はサスペンデッドとします。
- 使用球 YONEX TOUR PLATINUM (ヨネックスツアープラチナム) 第47回大会指定球
敗者、使用球持ち帰り。

- 服 装 「JTA テニスルールブック 2025」に基づく。
テニスウェアを着用・長ズボン可・ロゴ規定はありません。
フェイスマスクの着用不可。
- 表 彰 1位のペアにカップ、1位～4位のペアに賞状とメダル（3位決定戦を行う）
- 傷 害 大会事務局にて大会期間中の傷害保険に加入しています。試合中に傷害が発生した場合は、大会本部までお知らせ下さい。
- そ の 他 全国決勝大会 2025年12月 3日（水）～ 5日（金）
※12月 2日（火）は前日練習日
有明テニスの森公園テニスコート
上位3ペアをもって県代表チームを結成する。（交通費の一部のみ支給）
代表ペアが棄権の場合は次点（4位）のペアが繰り上がる。

朝日東海レディーステニス大会

2025年10月24日（金） 予備日10月31日（金）

岐阜県 岐阜車体スポーツ広場

☆ファイブの部 … 予選会で4位のペアとベスト8に入った4組の計5組で出場する。

☆クイーンの部 … 予選会参加の50歳以上で選出された4組で出場する。

※本大会は、すべてのプレーヤーを公平に扱います。

※本要項は、天候等、止むを得ない事情により変更される事があります。

天候不良による中止などの緊急の連絡は、JLTF 岐阜県支部のホームページに掲載します。

- ★ 代表になられた選手は、11月24日（月）多治見市星ヶ台テニスコートにて、他県選手との練習会があります。
- ★ 非会員で、全国決勝大会・朝日東海レディーステニス大会の代表になられた選手は、JLTF 岐阜県支部に入会していただきます。

☆☆注意事項☆☆

1. 受付時間までに試合のできる服装に着替え、二人そろって本部に届け出る。遅刻は失格とする。
2. 試合順序は本部掲示板を確認し、指定されたコート付近で待機する。
3. 前の試合終了後、直ちにコートに入り試合を始める。対戦相手が来ない場合はロービングアンパイアを呼ぶ。
4. ポイント間は 25 秒以内とし、エンド交代時は 90 秒以内の休憩とする。第 1 ゲーム終了後とタイブレーク中は休憩なしでエンドを交代する。
5. 試合終了後、勝者は直ちにスコアシートを本部に届け、次の試合の確認をする。

☆セルフジャッジについて（選手自身が判定とコールをします）

1. サーバーはサーブを打つ前にスコアをレシーバーに聞こえる声で言う。
2. ネットより自分側の判定とコールをする。
ボールがラインにタッチした時、見失って判定できなかった時は「グッド」
ボールとラインの間にはっきりと空間が見えた時は「アウト」「フォールト」
3. 相手に聞こえる声と相手に見えるハンドシグナルで速やかに行う。
代表的なハンドシグナルは、人差し指を出して「アウト」「フォールト」、手のひらを地面に向けて「グッド」
4. ダブルスの判定とコールは、一人のプレーヤーが行えば成立する。しかし、ペアの両選手の判定が食い違った場合はそのペアの失点となる。
ただし、ネット、ストラップまたはバンドに触れたサーブを、一人が「フォールト」、パートナーは「レット（グッド）」とコールした場合は「(サーブの)レット」となる。
5. ペアの判定が食い違ったとしても「フォールト」「アウト」をコールしたプレーヤーが「グッド」に訂正し返球が正しく相手コートに入った場合、1 回目は相手への故意ではない妨害としてポイントレットにする。そして、2 回目以降は故意に妨害したとして失点する。
ただし、ミスジャッジの前に打たれたボールが明らかなウイニングショット・エースまたは返球が正しく相手コートに入らなかった場合は相手への妨害が起こってないので、1 回目であってもミスジャッジをしたペアの失点となる。
6. 「ネット」「スルー」「タッチ」「ノットアップ」「ファウルショット」は、両プレーヤー・チームが判定とコールをすることができる。
7. サーブのレットはレシーバー側がコールする。
8. インプレー中、他コートからボールが入ってくるなどの妨害が起こった場合は、「レット」とコールしてそのポイントをやり直す。
ただし、レットがコールされる前に打たれたボールが、コート内に正しく入らなかった場合は、そのボールを打った側の失点。明らかなウイニングショット・エースとなった場合は、そのボールを打った側の得点。
ポイントが終了した後で、妨害があったとしてやり直しの要求はできない。
第 2 サービスのモーションに入った後に妨害があった場合は第 1 サービスからやり直す。
9. 第 2 サービスからのインプレー中、第 1 サービスのフォールトのボールを誤って蹴飛ばした場合は、相手のプレーヤーが妨害と判断した場合「レット」をコールできる。2 回目以降は、その度に相手への故意による妨害となり、失点する。
10. 次の場合はレフェリーまたはロービングアンパイアに速やかに申し出る。
 - ・試合中、トイレ・着替えなどでコートを離れたい時
 - ・相手プレーヤーの言動やコール、フットフォールトなどに疑問、不服がある時
11. 試合中に発生したケガや病気の時は、レフェリーまたはロービングアンパイアに要求後、次のエンド交代時(緊急を要する場合は直ちに)、1 部位の症状につき 1 回の M T O が取れ、3 分間の手当てをすることができる。
筋ケイレンの場合、エンド交代の時間内に限り処置をしてもよいが、M T O をとることはできない。

☆試合中にわからない事や困った事が起きたら

ロービングアンパイア(コート付近の通路にいます)を呼んでください。

受付時間	1	2	3	4	5	6
第1試合 9:00	1 R 2 松岡・武田 vs 3 木寺・加藤	2 R 4 伊藤・古林 vs 5 陶川・林	2 R 6 大宮・西尾 vs 7 末木・加藤	2 R 8 中島・小野 vs 9 江藤・野口	2 R 10 永田・倉知 vs 11 西脇・工藤	2 R 12 安藤・伊藤 vs 13 山下・鳥山
第2試合 9:00	2 R 14 林・根本 vs 15 野田・佐藤	2 R 16 脇田・福島 vs 17 入相・加藤	2 R 18 津田・山本 vs 19 中山・龜村	2 R 20 田口・脇田 vs 21 伊藤・松原	2 R 22 中根・長 vs 23 田島・松永	2 R 24 林・浅野 vs 25 松坂・木本
第3試合 10:30	2 R 26 堀・岡田 vs 27 渡辺・服部	2 R 28 塩畑・島袋 vs 29 佐藤・橋詰	2 R 30 安藤・中瀬 vs 31 平野・細川	2 R 32 三鴨・藤井 vs 33 松井・梶田	2 R 1 岩崎・大野 vs 2 on 3	R vs
第4試合 11:30	R vs	R vs	R vs	R vs	R vs	R vs
第5試合 11:30	R vs	R vs	R vs	R vs	R vs	R vs
	R vs	R vs	R vs	R vs	R vs	R vs
	R vs	R vs	R vs	R vs	R vs	R vs

受付締切時間

8:30 ~ 9:00

各コートでの第1試合、第2試合

10:30

各コートでの第3試合

11:30

各コートでの第4試合、第5試合

※時間内にエントリーがされない場合は、失格となります。

チャレンジ大会・ベテラーノ大会

受付時間	7	8	9	10		
第1試合 9:00	R vs	R vs	R vs	R vs	R vs	R vs
第2試合 9:00	R vs	R vs	R vs	R vs	R vs	R vs
第3試合 10:30	R vs	R vs	R vs	R vs	R vs	R vs
第4試合 11:30	R vs	R vs	R vs	R vs	R vs	R vs
第5試合 11:30	R vs	R vs	R vs	R vs	R vs	R vs
	R vs	R vs	R vs	R vs	R vs	R vs
	R vs	R vs	R vs	R vs	R vs	R vs

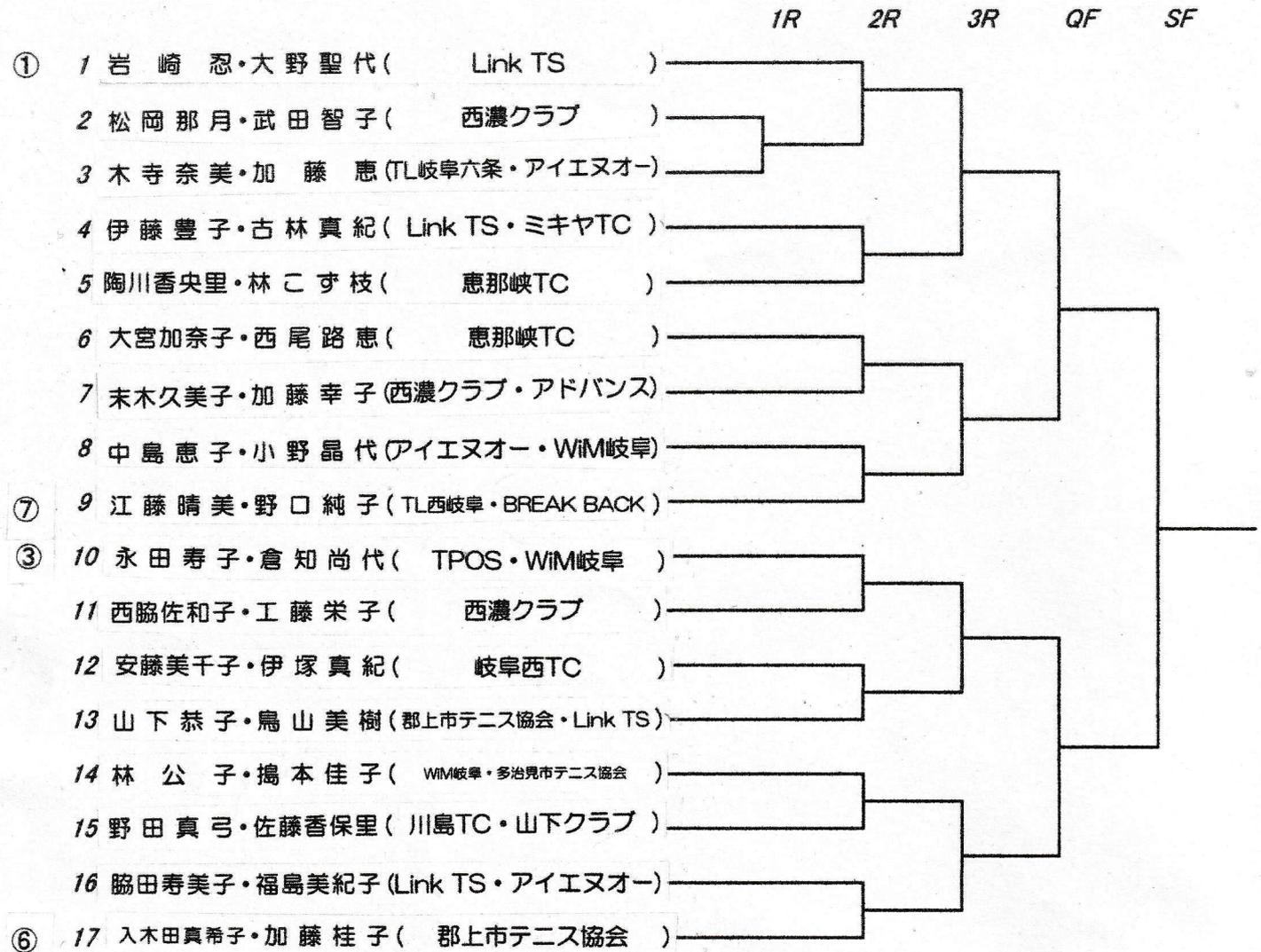
注意事項

- ☆ 15分遅れで不戦負けとします。
- ☆ 両チームが15分たってもコートに現れない場合は、双方不戦負けとします。
- ☆ 前の試合が終了した時点をも、試合終了時間とします。
- ☆ 不戦負けが生じた場合、次の試合が直ちにに入れ替わり行われますので、控えの選手は指定コート付近で待機して下さい。
- ☆ 記載以降のオーダーは本部に掲示します。進行状況及び天候等により、このオーダーが変更される場合がありますので、本部との連絡確認を怠らないで下さい。

ソニー生命カップ 第47回全国レディーステニス大会 岐阜県予選会

(A)

2025. 9. 25~



第1シード 岩崎 忍・大野 聖代

第5シード 津田 昌子・山本 育子

第2シード 松井 敏恵・稗田 智晶

第6シード 入木田 真希子・加藤 桂子

第3シード 永田 寿子・倉知 尚代

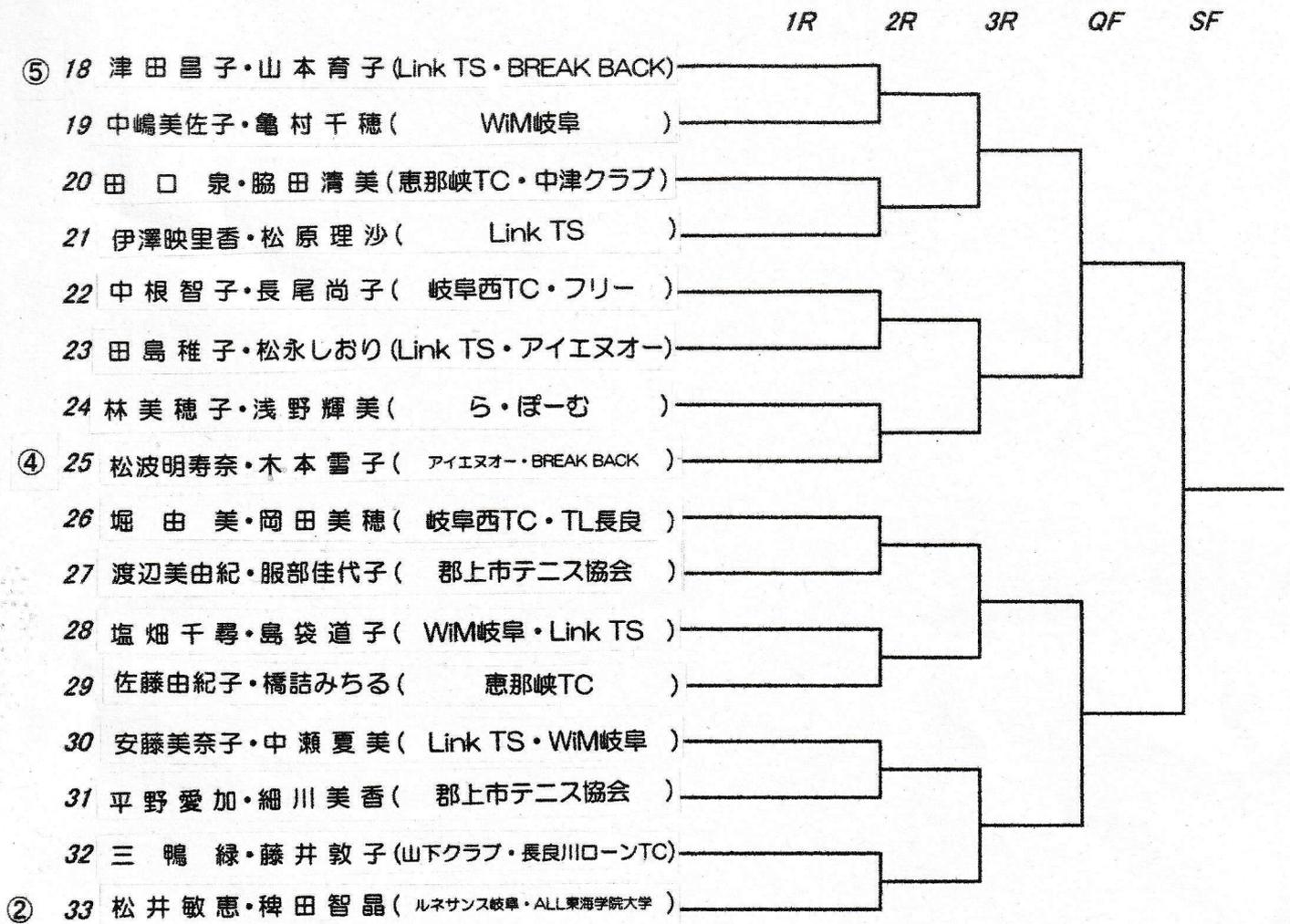
第7シード 江藤 晴美・野口 純子

第4シード 松波 明寿奈・木本 雪子

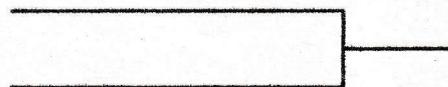
ソニー生命カップ 第47回全国レディーステニス大会 岐阜県予選会

(B)

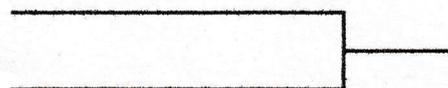
2025. 9. 25~



決勝



三位決定



全国決勝大会

2025年12月 3日(水)～ 5日(金)

※12月 2日(火)は前日練習日

有明テニスの森公園テニスコート

岐阜県チーム

監督

No. 1

No. 2

No. 3

朝日東海レディーステニス大会

2025年10月24日(金) 予備日10月31日(金)

岐阜県 岐阜車体スポーツ広場

岐阜県チーム

監督

[ファイブの部]

No. 1

No. 2

No. 3

No. 4

No. 5

[クイーンの部]

No. 1

No. 2

No. 3

No. 4

全国決勝大会 岐阜県代表者

回	1 位	2 位	3 位	監督
第1回 1979年	柴山和子 林 寿鶴子	山本千代子 三橋里子	丸山雅子 篠原幹枝	古田司郎 (世話人)
第2回 1980年	林 寿鶴子 橋本美千代	遠田汎子 稲垣美保	住アツ子 柴山和子	柴山和子 (世話人)
第3回 1981年	橋本美千代 住アツ子	山本千代子 三橋里子	滝口玲子 亀山正子	山本千代子
第4回 1982年	植木清美 市原紀子	山本千代子 三橋里子	柴山和子 前川肥子	山本千代子
第5回 1983年	幅明美 春田光子	横井純子 犬飼とき子	林 寿鶴子 松野和子	林 寿鶴子
第6回 1984年	亀山正子 滝口玲子	林久子 犬飼とき子	松野和子 横井純子	亀山正子
第7回 1985年	柴山和子 植木清美	佐竹貴美代 山田玲子	前川肥子 住アツ子	住アツ子
第8回 1986年	柴山和子 中田有可子	西川恵子 幅明美	林久子 舘文子	幅明美
第9回 1987年	植木清美 石樽幸子	葛谷久子 伊佐治岸子	西垣光代 宗宮美恵子	葛谷久子
第10回 1988年	植木清美 住アツ子	中山和子 山本いづみ	横井純子 木沢久美子	柴山和子
第11回 1989年	前川肥子 佐竹貴美代	藤原ちえみ 福井喜久子	山本いづみ 石樽幸子	山本千代子
第12回 1990年	後藤きみ子 佐竹貴美代	亀山正子 石井三代子	名里美穂子 葛谷久子	松野和子
第13回 1991年	木沢久美子 山本いづみ	福井喜久子 藤原ちえみ	高木とよ子 鈴江明美	柴山和子
第14回 1992年	山口真弓 渡辺つかさ	宗宮美恵子 近藤百合子	春田光子 山田朱美	山本千代子
第15回 1993年	石井三代子 山口真弓	細川まり子 近藤百合子	木沢久美子 住田敬子	住アツ子
第16回 1994年	住アツ子 石井三代子	住田敬子 藤原ちえみ	山田朱美子 春田光子	前川肥子
第17回 1995年	山口真弓 山田朱美	住アツ子 足立香織	松井文子 山根福子	柴山和子
第18回 1996年	住田敬子 渡辺珠美	松井文子 山根福子	名里美穂子 葛谷久子	木沢久美子
第19回 1997年	山本いづみ 中嶋きし子	松井文子 山根福子	名里美穂子 松原初音	山田朱美
第20回 1998年	足立香織 岩田三恵子	中月利枝子 中宮部智子	戸倉美保子 近藤百合子	亀山正子
第21回 1999年	田中玲子 渡辺珠美	鈴江明美 住アツ子	足立香織 岩田三恵子	渡辺珠美
第22回 2000年	疋田慶子 小野由佳	山本いづみ 中嶋きし子	宮部智子 高橋優美子	山本いづみ
第23回 2001年	疋田慶子 小野由佳	今井智美 山下里登美	渡辺珠美 大坪美智代	渡辺珠美

(第23回までは朝日レディーステニス大会)

回	1 位	2 位	3 位	監 督
第24回 2002年	長尾明世 渡辺和代	中嶋きし子 中田中玲子	今村芳子 豆田 緑	中嶋きし子
第25回 2003年	長尾明世 渡辺和代	石井三代子 伊藤佳子	鈴江明美 竹内真紀	石井三代子
第26回 2004年	田中玲子 今村芳子	二村優子 牧村洋子	宮本亜希 兼松麻衣子	田中玲子
第27回 2005年	今村芳子 豆田 緑	牧村洋子 古田満知子	藤原ちえみ 山本歌子	今村芳子
第28回 2006年	長尾明世 伊藤佳子	牧村洋子 二村優子	渡辺浩美 田村弘美	長尾明世
第29回 2007年	竹内文恵 白木真由子	渡辺美由紀 服部佳代子	清水桂子 諏訪且子	山下里登美
第30回 2008年	中村芳子 二村優子	安藤千賀子 近藤洋子	細川まり子 住アツ子	山下里登美
第30回 特別枠	田中久美子 山根福子	渡辺美由紀 服部佳代子	石田裕美 杉下美恵	山下里登美
第31回 2009年	渡辺浩美 田村弘美	原美幸 西澤美奈子	浅野園美 毛利京子	山下里登美
第32回 2010年	細川まり子 八竹由美子	諏訪且子 清水桂子	浅野美恵 鈴木聡美	二村優子
第33回 2011年	渡辺浩美 田村弘美	諏訪且子 清水桂子	安藤千賀子 中村芳子	二村優子
第34回 2012年	兼松麻衣子 樫村亜希	中村芳子 石田裕美	梅田宗子 篠田郁子	二村優子
第35回 2013年	兼松麻衣子 樫村亜希	森純子 渡辺里佳	浅野美恵 鈴木聡美	山下里登美
第36回 2014年	福田晴香 大池千絵美	森有光子 永田寿子	浅野美恵 鈴木聡美	山下里登美
第37回 2015年	加藤万由弓 永田寿子	松原佳成重 大野聖代	渡辺浩美 田村弘美	山下里登美
第38回 2016年	加藤万由弓 永田寿子	渡辺美由紀 服部佳代子	梶田恵 松下祐紀	山下里登美
第39回 2017年	大池千絵美 小島えり	兼松麻衣子 樫村亜希	後藤直子 森本寿枝	山下里登美
第40回 2018年	兼松麻衣子 樫村亜希	梶田恵 松下祐紀	大野聖代 渡辺里佳	山下里登美
第41回 2019年	渡辺浩美 和田葉子	兼松麻衣子 樫村亜希	後藤直子 森本寿枝	山下里登美
第42回 2020年	伊藤佳子 森有光子	大野聖代 和田葉子	松原佳成重 鈴木花江	森有光子
第43回 2021年	松原佳成重 鈴木花江	森有光子 成瀬千絵美	梶田恵 松下祐紀	山下里登美
第44回 2022年	岩崎忍 和田葉子	立松えり 福田晴香	倉知尚代 永田寿子	山下里登美
第45回 2023年	立松えり 福田晴香	松井敏恵 伊藤佳子	松岡妙子 早野綾	山下里登美
第46回 2024年	岩崎忍 内田理沙	松井敏恵 大野聖代	稗田智晶 伊藤佳子	山下里登美
第47回 2025年				

過去46回の全国決勝大会成績

回数・年度	優勝	準優勝	第3位	第4位	ベストエイト
第1回(1979年)	埼玉	兵庫	東京 神奈川	3位 決定戦ナシ	静岡 広島 大愛 岡島 京都 奈良 京奈 東重 三岐 京泉 愛知 栃木 岡山 山崎 千徳 滋賀 徳島
第2回(1980年)	神奈川	東京	福岡	兵庫	大愛 知葉 千重 都重 京重 三岐 兵庫 重京 本崎 宮崎 三重
第3回(1981年)	神奈川	東京	兵庫	福岡	大愛 知葉 千重 都重 京重 三岐 兵庫 重京 本崎 宮崎 三重
第4回(1982年)	神奈川	千葉	茨城	北海道	大愛 知葉 千重 都重 京重 三岐 兵庫 重京 本崎 宮崎 三重
第5回(1983年)	千葉	埼玉	神奈川	兵庫	大愛 知葉 千重 都重 京重 三岐 兵庫 重京 本崎 宮崎 三重
第6回(1984年)	神奈川	千葉	埼玉	大阪	大愛 知葉 千重 都重 京重 三岐 兵庫 重京 本崎 宮崎 三重
第7回(1985年)	兵庫	静岡	大阪	埼玉	大愛 知葉 千重 都重 京重 三岐 兵庫 重京 本崎 宮崎 三重
第8回(1986年)	東京	京都	三重	岐阜	大愛 知葉 千重 都重 京重 三岐 兵庫 重京 本崎 宮崎 三重
第9回(1987年)	埼玉	大阪	東京	兵庫	大愛 知葉 千重 都重 京重 三岐 兵庫 重京 本崎 宮崎 三重
第10回(1988年)	千葉	茨城	大阪	長野	大愛 知葉 千重 都重 京重 三岐 兵庫 重京 本崎 宮崎 三重
第11回(1989年)	千葉	東京	岡山	埼玉	大愛 知葉 千重 都重 京重 三岐 兵庫 重京 本崎 宮崎 三重
第12回(1990年)	福岡	大阪	千葉	京都	大愛 知葉 千重 都重 京重 三岐 兵庫 重京 本崎 宮崎 三重
第13回(1991年)	千葉	東京	大阪	群馬	大愛 知葉 千重 都重 京重 三岐 兵庫 重京 本崎 宮崎 三重
第14回(1992年)	東京	千葉	福岡	北海道	大愛 知葉 千重 都重 京重 三岐 兵庫 重京 本崎 宮崎 三重
第15回(1993年)	大阪	兵庫	神奈川	千葉	大愛 知葉 千重 都重 京重 三岐 兵庫 重京 本崎 宮崎 三重
第16回(1994年)	東京	千葉	神奈川	北海道	大愛 知葉 千重 都重 京重 三岐 兵庫 重京 本崎 宮崎 三重
第17回(1995年)	東京	福岡	栃木	群馬	大愛 知葉 千重 都重 京重 三岐 兵庫 重京 本崎 宮崎 三重
第18回(1996年)	埼玉	静岡	大阪	茨城	大愛 知葉 千重 都重 京重 三岐 兵庫 重京 本崎 宮崎 三重
第19回(1997年)	東京	神奈川	大阪	茨城	大愛 知葉 千重 都重 京重 三岐 兵庫 重京 本崎 宮崎 三重
第20回(1998年)	愛知	奈良	埼玉	兵庫	大愛 知葉 千重 都重 京重 三岐 兵庫 重京 本崎 宮崎 三重
第21回(1999年)	神奈川	大阪	千葉	宮城	大愛 知葉 千重 都重 京重 三岐 兵庫 重京 本崎 宮崎 三重
第22回(2000年)	神奈川	東京	広島	埼玉	大愛 知葉 千重 都重 京重 三岐 兵庫 重京 本崎 宮崎 三重
第23回(2001年)	東京	大阪	岐阜	神奈川	大愛 知葉 千重 都重 京重 三岐 兵庫 重京 本崎 宮崎 三重
第24回(2002年)	埼玉	千葉	栃木	大阪	大愛 知葉 千重 都重 京重 三岐 兵庫 重京 本崎 宮崎 三重
第25回(2003年)	千葉	愛知	神奈川	大阪	大愛 知葉 千重 都重 京重 三岐 兵庫 重京 本崎 宮崎 三重

過 去 4 6 回 の 全 国 決 勝 大 会 成 績

回数・年度	優勝	準優勝	第3位	第4位	ベストエイト
第26回(2004年)	大阪	神奈川	東京	千葉	宮城 京都 茨城 静岡 福岡 千葉 東京 愛知 神奈川
第27回(2005年)	兵庫	愛知	大阪	福島	京都 東京都 埼玉 福岡 三重 大阪 奈良 岡山 北海道
第28回(2006年)	愛知	兵庫	茨城	長野	東京都 埼玉 福岡 三重 大阪 奈良 岡山 北海道
第29回(2007年)	神奈川	埼玉	大阪	栃木	東京都 埼玉 福岡 三重 大阪 奈良 岡山 北海道
第30回(2008年)	東京	兵庫	神奈川	埼玉	東京都 埼玉 福岡 三重 大阪 奈良 岡山 北海道
第31回(2009年)	神奈川	茨城	兵庫	宮崎	東京都 埼玉 福岡 三重 大阪 奈良 岡山 北海道
第32回(2010年)	東京	千葉	三重	愛媛	東京都 埼玉 福岡 三重 大阪 奈良 岡山 北海道
第33回(2011年)	大阪	広島	愛知	奈良	東京都 埼玉 福岡 三重 大阪 奈良 岡山 北海道
第34回(2012年)	愛知	静岡	東京	埼玉	東京都 埼玉 福岡 三重 大阪 奈良 岡山 北海道
第35回(2013年)	東京	千葉	神奈川	茨城	東京都 埼玉 福岡 三重 大阪 奈良 岡山 北海道
第36回(2014年)	東京	千葉	神奈川	茨城	東京都 埼玉 福岡 三重 大阪 奈良 岡山 北海道
第37回(2015年)	愛知	福岡	新潟	兵庫	東京都 埼玉 福岡 三重 大阪 奈良 岡山 北海道
第38回(2016年)	神奈川	埼玉	東京	熊本	東京都 埼玉 福岡 三重 大阪 奈良 岡山 北海道
第39回(2017年)	千葉	大阪	三重	神奈川	東京都 埼玉 福岡 三重 大阪 奈良 岡山 北海道
第40回(2018年)	埼玉	大阪	愛知	福岡	東京都 埼玉 福岡 三重 大阪 奈良 岡山 北海道
第41回(2019年)	東京	埼玉	三重	千葉	東京都 埼玉 福岡 三重 大阪 奈良 岡山 北海道
第42回(2020年)	東京	神奈川	愛知	埼玉	東京都 埼玉 福岡 三重 大阪 奈良 岡山 北海道
第43回(2021年)	千葉	大阪	京都	岐阜	東京都 埼玉 福岡 三重 大阪 奈良 岡山 北海道
第44回(2022年)	東京	埼玉	大阪	広島	東京都 埼玉 福岡 三重 大阪 奈良 岡山 北海道
第45回(2023年)	福岡	愛知	京都	大阪	東京都 埼玉 福岡 三重 大阪 奈良 岡山 北海道
第46回(2024年)	東京	沖縄	三重	大阪	東京都 埼玉 福岡 三重 大阪 奈良 岡山 北海道